

公益財団法人かすがい市民文化財団広報誌

FORUM PRESS

春日井の“毎日”を、もっと楽しく！



Contents

文化や芸術の情報をお届け！

2023.4-6月

- ◆ 帰ってきた びわ湖ホール四大テノール at 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール
- ◆ 歌舞伎ソムリエ・おくだ健太郎の 松竹大歌舞伎徹底解説

VOL. 110

先取りで
観てきました!

帰ってきた

びわ湖ホール 四大テノール

at 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール



©栗山主税

感動の涙+爆笑の涙
珠玉の
エンターテインメント

4人のテノール歌手による本物の歌声と関西仕込みの笑いが融合したステージで大喝采を浴びた「びわ湖ホール四大テノール」が春日井市民会館に帰ってきます。メンバーの二塚直紀さんの急逝で活動を休止していましたが、2年ぶりに復活。春日井公演を前に、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで開かれた公演をレポートします。

01 特集 先取りで観てきました!

帰ってきた びわ湖ホール四大テノール at滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

取材・テキスト=三宅 有

FORUM PRESSは
みんなの笑顔が
あふれる広場
のような広報誌を目指します。

04 特集 歌舞伎ソムリエ・おくだ健太郎の 松竹大歌舞伎徹底解説

テキスト=おくだ健太郎 イラスト=白井南風

06 特集 第20回掌編自分史作品集「はじめまして」私の好きな「一篇」

08 子どもと楽しむ! KIDS★PRESS 10

[今回のテーマ] 粘土で作るカーネーション

今号の先生=長江たず子(クレイクラフト・マロウ代表)

10 FORUM PRESS LIBRARY

かすがい市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

11 聴き書き自分史“もの”語り 大切なもの、教えてください。
加藤詩乃さんのオルゴール

取材・テキスト=芳賀倫子(日本自分史センター相談員) / 語り手=加藤詩乃(ピアニスト)

12 みんなのひろば 09

春日井市茶道連盟代表 犬飼真紀子さん

13 わたしのアトリエ

第71回春日井市民美術展覧会の作品紹介

写真部門 教育委員会賞 藤田 文夫さん

14 公演レポート

生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会《室内楽版》

市民レポーターが公演の様子をレポート! 担当スタッフが語る“よもやまばなし”も。

15 インフォメーション

16 あのひと、春日井と

山田雅哉 / 画家

春日井に何かしら縁のあるアーティストを紹介しています。

取材・テキスト=三宅 有

今号の表紙



[モデル]
山田 雅哉

[撮影]
中野 隆一 / 写真家

テノールって愉しい！

身も心も元気に



「四大テノール」は、国内初の公共ホール専属音楽家集団「びわ湖ホール音楽アンサンブル」で出会った4人で結成。メンバーはそれぞれソリストとして活躍しています。澄み渡る青空のようになさわやかな明るい歌声で聴衆を魅了。その圧倒的な歌唱力に加えて、関西ならではのユーモアあふれるコントで会場を笑いの渦に引きこみます。「クラシック」と「笑い」が融合した公演は、まさに「上質な大人のエンターテインメント」です。

爽快なまでに 突き抜ける歌声

そんな彼らの登場を待っていると、アナウンスが…。「テノール歌手はとても繊細な生き物です。携帯の電源はお切りください。歌手に触ったり、餌を与えたりしないでください」。客席に笑いまじりのどよめきが起きました。ところが、**月われは湖の子さすらいの月**。オープニングの『琵琶湖周航の歌』をメンバーが歌いだした途端、空気は一変。ハイレベルな歌唱技術に裏打ちされた重厚で伸びやかな歌声がホールを覆い尽くします。大迫力なのに耳元で歌っているかのように鮮明で心地良い響き…。いや、下手な形容は不要。ただただ「カッコイイ」「すごいっ!」。一気に全身鳥肌です。メンバーのソロも、それぞれ声質が違い、一曲ごとに満足感に満たされる

のに、「もっと聴きたい」という思いが尽きません。

**オペラ仕込みの
渾身のコント**

ユーモア多めで行っていた曲目解説が、いつの間にか大人気コーナーになった「テノールdeコント」。衣装や小道具も片手間ではありません。直前まで卓越した歌声で魅了していた彼らの真面目に不真面目を極めた大熱演に、会場は「ギャップ萌え」も相まって爆笑と大喝采に



コンサートで使用した
小道具たち

包まれました。しかし、ひとたび、『フニクリ・フニクラ』を歌えば、歌声に心酔。ところが、それはフリ？ **月鬼のパンツは月と**、今度は角を頭に乘せ、振り付きで替え歌を熱唱。さらに、オペラ『トゥーランドット』より、誰も寝てはならぬ』でボルテージは最高潮に。随所に「6/11（日）は春日井公演」と連呼し、笑いとプロモーションも両立。サービス精神もハイレベルです。そして、第3部？かと思う程の熱いアンコールで終演しました。聴衆は興奮冷めやらぬ様子で「気持ちいい」「スカッとした」「圧倒!!」と、晴れやかな笑顔でホールを後にしました。

音楽は 目に見えない薬

全曲ピアノ伴奏し、編曲も手掛けた植松さやかさんは最も近くで感じる魅力。「四人の爆発力」と絶賛。そんなパワフルなメンバーがインタビューに反応してくれました。魅惑のハイC（高音）、岡崎出身の山本康寛さんは「お客さんが笑って帰ってくれることがmust（マスト）。知的で安定感のある美声の清水徹太郎さんは「終わるとサウナ後の様な疲労感と爽快感が。コンサートは一期一会と思って全力投入」。この日、コントに飛び入り参加となる古屋彰久さんは津島市出身。「プレッシャーに押しつぶされそうですが、気合も入っています」と熱く語ってくれました。そして、プロデューサー的な存在でMCも務める竹内直紀さんは「10年前の春日井公演で、サポテナーメンが食べられなかったことが心残り！」と思いを語った後、締めてくれました。「我々のテノールで身も心も元気になってください。音楽は目に見えない薬です!」

©栗山主税



公演情報 帰ってきた びわ湖ホール 四大テノールコンサート

10年ぶりに春日井へ!
4人のテノール歌手による
THE・エンターテインメント!

2023.6.11(日) 14:00~
@春日井市民会館

HPにて公演のPR動画を公開中!.....



歌舞伎ソムリエ
おくだ健太郎の

松竹 大歌舞伎 徹底解説

テキスト||おくだ健太郎
イラスト||白井南風

OKUDA KENTARO



義経、始まりの物語

夏のおたのしみ、松竹大歌舞伎の巡回公演が、4年ぶりに春日井にやってきます。古典の名作を二演目、ご覧いただけます。

一本目は「菊焔」といって、「鬼一法眼三略巻」という長いお芝居の中の一幕です。源氏と平氏の戦いが物語の背景になっていきますが、そのはじめの頃、すなわち平氏が源氏を圧倒して、全盛を極めていたころのお話です。

吉岡鬼一法眼は、平氏につかえる軍略家で、三略巻という、いくさの奥義が記された巻物を大切に持っています。その立派な館のお庭には、彼が丹精をこめて育てている菊の花が、色とりどりに咲きあふれています。

鬼一には、鬼次郎、鬼三太という二人の弟がいますが、二人とも源氏に属しています。兄弟が敵味方に分かれてしまっているわけです。そして鬼三太は、正体を伏せて鬼一の館に入り込み、智恵内と名乗って、奴として仕えています。

土蜘蛛の精との豪快な立ち回り

幕間をはさんで、「土蜘蛛」という舞踊劇になります。新古今演劇十種という、尾上菊五郎家の「家の芸」に属する作品で、お能をもとに作られたものです。

祈りをささげて、頼光の病を治してさしあげよう、と申し出ます。

山野をめぐり、風雨や雪に耐えてきた、厳しい修行のあらましを踊って披露する高僧でしたが……火影に浮かび上がるその姿を「あやしい！」と、頼光に仕える、いたいけなな刀持ちが見破ります。その正体こそは、日本征服をたくらむ土蜘蛛の精だったのです。

京の都を警備する武将・源頼光は、このところ体調がすぐれず、住まいで静養しています。侍女の胡蝶は、薬をととのえ、都のさまざまな紅葉の名所の美しさを踊りでお目にかけます。頼光の心はなごみますが、すぐに全快とはいきません。

と、そこへ、夜のしじまの中から、いつの間にか姿をあらわしていたかのように、謎めいた僧侶が訪ねてまいります。比叡山の高僧・智籌と名乗るこの男、靈験あらたかな舞台せましと展開します。



©松竹株式会社

令和五年度

葛西聖司の極付！ 歌舞伎セミナー

2023.6.17(土) 13:30～

@春日井市民会館

入場料 ¥500 (当日払い)

※2023.7.30(日)松竹大歌舞伎の
チケットをお持ちの方は入場無料



令和五年度

(公社)全国公立文化施設協会主催 東コース

松竹大歌舞伎

2023.7.30(日)

昼の部 12:00～

夕方の部 16:30～

@春日井市民会館



第20回掌編自分史作品集
「はじめまして」には、
様々な「はじめまして」
にまつわる人生の一場面が
その人の言葉で
綴られています。
そこからは、
共感や発見、新鮮な驚きや
自身の思ひ出が
回想されることも…。

掲載35作品の中から、
「私の好きな「一篇」」を
選んでもらいました。

私の好きな「一篇」

くせ毛とわたしが和解するまで

作・石谷みみ(愛知県・30代)

これはくせ毛をひとりの人の想像力をかりたて、次々とイメージが湧いてきてニヤニヤが止まりませんでした。自分の髪の悩みのお話なのに、こうして擬人化して一旦自分の外に置く事で、くせ毛が長年苦楽を共にしてきた戦友のように感じられ、こんなにも愛おしく、面白く、応援したくなってしまふのかと驚きです。

それは「弱点や逆境さえも楽しんでやる」という石谷さんの姿勢が文章に溢れているからに違いありません。

髪や容姿に悩みを持つ全ての人に読んでいただきたい、やさしい一篇です。



グラフィックデザイナー・
小島邦康さんが
選んだ一篇



古本屋かえりみち・
池田望未さんが
選んだ一篇

つながる

作・里まりこ(兵庫県・60代)

「私たちは、娘に居場所をつくってあげられたのだろうか。いつでも帰れる場所をつくってあげられたのだろうか」

里親として二歳の少女を引き受けてから二十年以上、娘として育ててきたという里さん。彼女の文章から目が離せなかったのは、この問いが印象深かったからです。

人生を振り返るとつい「過去のまとも」になってしまいくせ毛とわたしは、現在進行形で娘さんとの関係を模索しているのがわかります。

彼女の身を切るような問い



古本屋かえりみち・
池田育望さんが
選んだ一篇

作って食べる出会い

作・小川咲(愛知県・50代)

先生だって人間なのだ。よき講師の顔の前に、普通の人間であり、今回は主婦なのである。

人前で話すことに生まれつき抵抗のない人はいないし、はじめから上手な人もいない。ましてや初めての先生ならなおさらだし、緊張もする。

だからこそ、準備が大事だし、イメージトレーニングをする。

買い物という料理教室の準備の過程から、初めて講師の助手をするという緊張と、良い会にするぞという意気込みが感じられる。さらに、教室

はじめまして、お母ちゃん

作・紀伊保(愛知県・50代)

当然のことですが、自分の母親にも名前があって、青春時代があった。みなさんは、その事実を目の当たりにしたことがありますか？

この作品は、母の人生を「聞き書き」することを通して、一人の人間を様々な角度からみつける様子が描かれています。

今までもこれからも、大切な「母」という存在であるには違いないのです。しかし、本当の意味で互いに理解したり尊重したりすることは、親子であっても簡単なことではないでしょう。

「聞き書き」は、相手の人生です。



春日井高等学校教諭・
霜鳥誠さんが
選んだ一篇



第20回掌編自分史作品集
はじめまして

編集・発刊：公益財団法人かすがい市民文化財団
発刊：2023年3月 定価：1,000円(税込)

[取扱店舗]
・文化フォーラム春日井
・古本屋かえりみち
※オンラインショップでも購入できます。



やわらかくてコシの強い樹脂粘土を使って、花やスイーツ、人形などを作るクレイクラフト。乾燥すると滑らかに固まるので、プレゼントなどに最適です。今回は、母の日に「ありがとう」の気持ちを込めて贈るカーネーションを作ります。

今号の先生

長江たず子

春日井市在住/
クレイクラフト・
マロウ代表



今回のテーマ

粘土で作る
カーネーション

子どもと楽しむ!

KIDS★PRESS 10



4 花びらを台にのせよう!

③の花びら(5~6枚)を②の葉っぱの間に固定していきます。この時、花びらの向きは放射状に広がるようにして、全体の形を整えます(位置が決まったらボンドで固定)。

完成!

いつも
ありがとう!



長江先生からのアドバイス

つぼみをつけると、よりかわいく仕上がります。花びらと同じ色の粘土を涙型にして、先端にいくつか切り込みを入れて、花びらの下に固定してみてください。



用意するもの

- 樹脂粘土3色 赤色・白色・緑色
※他の色をまぜて好きな色を作ることもOK!
- 花をのせる台(直径約3~4cm)
※今回はコルク台
- 木工用ボンド
- フォーク



1 花をのせるレースを作ろう

直径1cmくらいの球に丸めた白い粘土を台にのせて、全体に薄く広げます。台のへりに沿ってフォークの背をあてて、模様をつけます。



2 葉っぱを作ろう

小さな涙型にした緑色の粘土を5個作り、それぞれ真ん中にフォークでタテ線を入れたら、①で作ったレースの上にバランスよく並べます。位置が決まったら、ボンドで固定します。



3 花びらを作ろう

赤色と白色を混ぜた粘土で、直径1センチくらいの球を5~6個作り、それぞれを①と同じように薄く広げ、へりに模様をつけます(直径3~4cm)。へりを貼り合わせないように気をつけながら二つ折りにし、山折りの中心をつまんでヒダを寄せて形を整えます。

へりの模様は瓶の底
などを使うと作りやすいよ!



つまんで



中心に
ぎゅっ!



“もの”語り

#10



オルゴール



語り手

加藤 詩乃

(ピアニスト)

取材・テキスト

芳賀 倫子 (日本自分史センター相談員)

芳賀先生の自分史相談

無料/ 毎週火曜日 13:00~17:00
要予約 文化フォーラム春日井にて



聴き書き
自分史
とは?

語り手の話に耳を傾け、
本人に代わって書く自分史です。

特に音楽教育に熱心ということもない、普通な家庭で育ちました。今では微笑ましい思い出ですが、父は、“コンクールでは審査に影響が出るので拍手をしない”ということを知らず、私の演奏が終わると、静寂の会場でただひとり拍手をしたことがありました。6歳の時、コンクールで賞をいただき、そんな父から「おめでとう」の言葉とオルゴールを貰いました。折に触れて『美しく青きドナウ』のその音色を聴くと、コンクールの緊張や不安、そして安堵の気持ちがよみがえり、健気に頑張った“小さなわたし”を思い出して優しい気持ちになります。錆びたり、接着剤でくっついたりしたところもありますが、常に傍らにあって、私の音楽人生の原点ともいえます。その後、コンクールや嬉しいことがあるとオルゴールは増え、5台が柔らかな音色を奏でています。

今は自身の演奏活動と並行して約30人をレッスンしています。私にとってのオルゴールのような、拠り所となる“何か”を生徒たちの心に与えられたら嬉しいですね。

加藤さんが出演!
ショパン! リスト!! ベートーヴェン!!! 怒涛のピアノ名曲づくし60分勝負
昼コン 2023.6.24(土)14:00~@文化フォーラム春日井・交流アトリウム

FORUM PRESS LIBRARY

フォーラムプレス
ライブラリー

文化フォーラム春日井で読めます!!

かすがい市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

プロデューサー小松 淳子の

このマンガを読め!!



宇宙の音楽



山本誠志 / 講談社

諦めた夢を指揮者としてもう一度

プロのトランペット奏者を父に持ち、トランペッターとしての将来を夢見ていた宇宙零は、持病の喘息の悪化で演奏が出来なくなってしまいます。吹奏楽部の無い高校を選び入学したつもりが、創部1年目の吹奏楽部に会ってしまい、部長から指揮者に任命されて…。

ただ指揮棒を振るだけではない指揮者の役割。演奏者と息を合わせ、表現したい音楽を伝えていく…指揮者の仕事をここまで熱心に描写した漫画は無かったと思います。デビューしてから吹奏楽の漫画しか描いてこなかったという作者。サクソ奏者の上野耕平さんやばんだウインドオーケストラなど、錚々たる音楽家たちが協力しているところも、この漫画の熱量を上げています。団員ボイコットという小澤征爾さんの「N響事件」など、コマ内に書かれる音楽ネタも楽しい、注目の音楽漫画の誕生です。

自分史断章II 動のあとの 静に憩う



プロデューサー山川 愛の

自分史「この一冊」



著者: 山下興亜
2023年印刷/箱あり

ミツバチのダンスからの学び

中部大学での学長在職中は年間60を下らない挨拶や講演に追われてきたという農学博士の山下興亜先生。口頭での祝意や激励を原稿としてまとめた本書。収録数55本、圧巻です。先生の話で興味深いのは、専門のお蚕を始めとした昆虫の休眠や変態です。ここではミツバチのお話を。

ミツバチは蜜や花粉を効率的に集めるため、ダンスを踊ることで蜜源の位置や資源情報を伝達します。しかし、このダンスを覚えられない“はみ出し個体”が1割近くいます。このアウトローが、未開の花圃を発見し、開拓してくるのだそう。異分子が新たな価値観や社会を積極的に作る話は、多様性の尊重にも通じます。

12年間、かすがい市民文化財団の理事長を務められ、今年6月に退任される山下先生は、昆虫と文化を見事に繋げ、生きる知恵を教えてくださいました。その見識から学べることは、まだまだ多そうです。まずは本書から。

秋彩揺らぐ

ラクウショウの紅茶色と黄金色にも見える太陽の光が水面を揺れ動く様と、幹の力強さのコントラストを捉えた受賞作。「細野町の都市緑化植物園の大久手池は、国内に数か所しかない希少な自生地。日課の散歩で見慣れた風景ですが、時間や天候、季節で違った表情を見せてくれます」と藤田さん。「そういう目で見ると、春日井にはまだまだ見ていない自然や風景がたくさんある」とも。

写真は退職後に始め、数年前からはグリーン・フォトクラブに所属。毎月の例会のほか、ひとりで長野や滋賀へ行くことも。その時は、「早朝の幻想的な瞬間を撮るため」、車中泊です。「技術的には足りないことだらけ。でも、向上心と美しいものを見つめる“目”は常に意識していきたい。写真は現実を写しだすけど、そこにわずかでも自分の気持ちを込められたら」と願っています。「人生で初めての“趣味”と言っていいのかな。体が動く限り撮り続けたい」と日常に潜む一瞬を狙ってシャッターを切ります。



わたしの
アトリエ



第71回春日井市民美術展覧会の作品紹介



藤田 文夫

昨年の市民展、写真部門で教育委員会賞を受賞。主に光と水が織り成す自然美を好んで撮影。春日井市在住。

お知らせ 市制80周年記念 第72回春日井市民美術展覧会作品募集
出品申込期間 2023.7.2(日)～15(土) 必着



ENJOY! FORUM

みんなの
ひろば
09

INUKAI
MAKIKO



文化フォーラム春日井や
春日井市民会館は、
春日井の文化をつむぐ
「みんなのひろば」です。
そんな「みんなのひろば」に
集う人々を紹介します!

心安らぐ一服を /

春日井市茶道連盟 代表

犬飼真紀子さん



にじり口もある文化フォーラム春日井の和室

市内の茶道教室の先生12人で構成されている茶道連盟は来年、45周年を迎えます。「多くの方々の努力の賜物です」と感謝を口にする犬飼さん。文化展や春日井まつりなどに訪れる人たちにお茶を点てたり、高校の茶道部の指導もしています。「お茶」は作法が着物と堅苦しいイメージをお持ちの方もみえるかもしれませんが、おしく味わえば良いんです。ただ、根底には相手への思いやりがあります。作法やマナーは周りへの気づかいが形になったものです」この春からは、コロナ禍で利用を控えていた文化フォーラム春日井の和室の利用を再開。「最近和室や床の間のない家もありですが、ここはとも趣ある和空間。頭を下げて入るにじり口に心躍る方もいると思います。畳に座って心安らかにお点前をいただくことは心身の癒しになります」。来年1月には記念茶会を予定。「初めての人も大歓迎です。幅広い世代の方々に触れてもらえたら」と茶文化の広がりをお願いします。

茶道は礼儀作法の集大成

かすがい文化フェスティバル

@文化フォーラム春日井・春日井市民会館



夏休みに伝統文化を体験!

2023年7月29日(土) 茶道でオープニング

詳細は、かすがい市民文化財団HPでお知らせします。

夏休みの子どもたちが囲碁や将棋、和太鼓や琴など、さまざまな伝統の和文化を体験! 茶道連盟も所属する春日井市文化協会の各団体が講師を務めます。



犬飼さんからの

お知らせ



昼コン&夜コン
開催します!

生演奏で音楽を気軽に楽しめる入場無料のコンサートです。毎回出演アーティストが異なります。詳しくは、当財団HPをご確認ください。

【昼コン】土曜日14:00~15:00
2023.5.20 / 6.24

【夜コン】金曜日19:00~20:00
2023.5.12 / 6.9 / 7.7

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



春日井市制80周年記念
第30回日本舞踊鑑賞会

春日井市の舞踊文化に貢献する日本舞踊協会会員の8名が華麗な踊りを魅せます。さらに、人間国宝である坂東玉三郎、新進気鋭の舞踊家・梅川杏ノ介を迎え、踊りとトークで日本舞踊の奥深さを伝えます。

2023.5.14(日) 12:30~
@春日井市民会館



葛西聖司の極付!
歌舞伎セミナー

「分かりやすい! 面白い!」と大好評のセミナーが4年ぶりに復活します。これを聴くと、歌舞伎の楽しみ方や見どころが分かります。7/30(日)松竹大歌舞伎春日井公演のチケットをお持ちの方は、入場無料です。

2023.6.17(土) 13:30~
@春日井市民会館



蝶花楼桃花
真打昇進披露公演

春風亭小朝の秘蔵っ子が、春日井市にやってきます。2022年3月に待望の真打昇進を果たし、高座名を『蝶花楼桃花』に改名。女流落語の歴史を変える? とも噂される、若手噺家のホープです。共演は春風亭昇々、桂宮治、玉川太福(浪曲師)・玉川みね子(曲師)。

2023.6.25(日) 14:00~
@春日井市東部市民センター



東部市民センター主催公演
開館40周年記念コンサート
高蔵寺クインテット

春日井市にゆかりのある演奏家たちが集結し、クラシックの名曲を五重奏でお届けします。チケットは5/20(土)より一般発売。

2023.7.2(日) 15:00~
@春日井市東部市民センター



©Pedro Arnav

ラルンベ・ダンサ
エアー~不思議な空の旅~

3D×ダンス!? スペイン・マドリッドを拠点に50年の歴史を持つ、世界的コンテンポラリーダンスカンパニーによる公演です。飛び出す絵本を見るような、愉快な世界を堪能できます。6/3(土)より、チケット一般発売予定。

2023.7.23(日) 14:00~
@春日井市東部市民センター

読者アンケート

今回の「広報誌FORUM PRESS」はいかがでしたか? 感想やご意見をお寄せください。回答はQRコードから。抽選でプレゼントもお届けします。回答の締め切り:2023.5.20(土)



今回のプレゼント

「帰ってきたびわ湖ホール四大テノールコンサート」(6/11(日)14:00~@春日井市民会館)のチケットを2組4名様プレゼントします!プレゼント不要の方も、ご回答いただけるようになっております。



編集後記

本物のテノールで魅了し、テッパンのお笑いで爆笑の渦。四大テノールは、まさに大人のエンタメの“粋”。終演後もかいがいしく写真撮影やサインに応じ、完全燃焼してお客様を見送るメンバー。ヤバイ!カッコイイ!! (三宅)

公演レポート

生で聴く
『のだめカンタービレ』の
音楽会 《室内楽版》

2023年2月19日(日)
@春日井市民会館



今回の
担当レポーター
奥村啓子

次も、きつと来る!

「のだめ」? 「カンタービレ」? 漫画もドラマも観ていない私にとっては未知の世界にきたような気持ちで席に着くと、「何だかいつもと感じが違うなあ」と不思議な感覚に包まれました。それはどこから? と、見回すと、会場には若い人が多く、期待感が生き生きとして、エキサイティングな雰囲気が渦巻いています。やがて原作の名場面などを映し出すスクリーンと素晴らしい演奏、高橋さんの語りが始まると、疑問は晴れていきました。何の予備知識もなく聴いた私でも、心を大きく動かされる公演でした。

最後の「ショパンピアノ協奏曲第一番六重奏版」は、「息をのむ」と表現しても大げさではないほど聴き入りました。映像から得られる感情と、演奏者の音楽に打ち込む姿に惹きこまれ、音楽は生きていることへの情熱から生まれるものだ! とさえ思いました。そして、終演を迎えた時、「次も、きつと来るっ!」と、呟く私がいきました。

市民レポーターが
かすがい市民文化財団の
アレコレを紹介!

REPORT NUMBER 472



他のレポートは
コチラ!

生で聴く
『のだめカンタービレ』の音楽会
《室内楽版》舞台担当

山下 玄
やました げん



担当スタッフの
よもやま
ばなし

舞台転換の度に譜面台や椅子を設置したり、引き上げたりしましたが、それぞれ演奏者ごとに高さや位置が決まっています。絶対に過ちは許されません! その上、素早くスマートでなければなりません。万一、不測の事態が起きたとしても無表情を貫く! 黒子は印象に残ってはいけません! 華麗な舞台の裏で、スタッフがあたふたと段取りを整えている光景は、劇場あるある! ですが、「のだめ音楽会」の素敵な演奏に「空気のごとく」関わられたとすれば、裏方に尽力に尽きます。



善く生き、
よく描く

あの人と、
春日井と

山田雅哉 画家

本物の 向こう側の 世界を

「目に見えないもの」を描きたい。例えば、そこにあるリングを描く。実物の再現はできても本物の魅力は越えられない。自分の絵で、具象の向こう側にある真実に宿る美を表現したい」と山田さん。ダ・ヴィンチやモーツァルトもあったといわれる音や文字に色がついて見える「共感覚」を持っている。学生時代から、「音楽を視覚化」しようとして、ヴァイオリンやピアノの演奏場面を描いたが、共感覚を絵にしているつもりはない。むしろ、JAZZセッションのように隣り合う色を肯定的に重ねていく描き方が、音楽的といえるかもしれない。しかし、「特定の曲を描いていると、絵で楽譜をコピーしているよう」で、具象の延長

でしかなかった。「頭の中のイメージを上手く描いたとしても、それ以上にはならない」と試行錯誤の末、水の動きを用いた新技法「新案墨流し技法」「新案垂らし込み技法」を確立。「制御しきれないからこそ、想像を超えた面白さがある」と、和紙に水がにじむ様までも作品に取り込むなど、「一途に『愛されるもの』」「最先端のもの」を追求し、具現化している。

すべては 美しい絵を 描くために

白い画紙上を遊泳する水の彩色には、日本画の画材として古くから使われている岩絵具を用いる。「顔料を練るなど手間はかかるけど、美しいものを描ける絵の具だから」。また、中高一貫校で教壇に上っていた当時から続けているドローイングは、画



家としての美や綺麗さに対する感受性を研ぎ澄ます「いわば、画家の『筋トレ』みたいなもの」。

さらに、「イメージ通りの線を描くために、「身体のコンディショニングを保つことも不可欠」と、栄養バランスに気を配り、ランニングもする。すべては、美しい絵を描くことに帰着する。

初の大規模個展となる今回の展覧会「エチカ」。人としてのあ

るべき姿を示す倫理学を意味する。「描くことで思考し、その思考をさらに描いて深めていく」という創作に向かう姿勢も象徴している。初期の具象絵画や東海テレビ「ニュースOne」で目にした番組セットのほか、春日井での暮らしのなかで得たインスピレーションを二十四節気ごとに表現した最新作「Angel（エンジェル）」も展示。一般に思い浮かべる羽や輪のある人間の形をしたエンジェルではなく、陽だまりや葉の裏側、小さな水滴などに宿る神の仕業とも言える刹那なきらめきを描き、「天の使い」というイメージで「名付けた」。

善く生きる

「生活の中で自分が触れる経験や思考、感動、感情…、良いことも悪いことも、すべてが『今の自分』につながっている。僕の場合、その時間のレイヤー（＝層）がひとつの画面に折り重な

る。だから、良い絵を描くためには、「善く」生きなきゃいけない」と、穏やかに微笑む。自身の生命の流れや荘厳な自然の摂理など、人間が享受するあらゆる事象を取り込み、絵に昇華した不可視的な世界。そこには、私たちが実際に目にするのではないものの、ふとした瞬間に感じる万物の精霊が宿り、「人としてどう生きるべきか」という人生の根源的な難問に対するヒントが描かれている。

コラム

山田雅哉と、春日井と「ふれあい緑道」

幼い頃は公園に向かう散歩道、高校時代は通学路、そして現在はランニングに利用しています。四季折々の花が咲き、春日井の二十四節気が感じられ、ユニークなハニワがいたりして、お気に入りの場所です。



1981年春日井市生まれ、在住。2015年愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。同大の日本画領域で初となる博士学位を取得。「存在の謎」(2019)、「talk」(2022)などの個展のほか、東海テレビ「ニュースOne」番組セット・メインビジュアルも担当(2020～2022)。



山田雅哉
Yamada Masaya

お知らせ 新進作家支援事業

山田雅哉 「エチカ」

2023.4.29(土・祝)～5.21(日)

10:00～17:00 5.12(金)のみ19:00まで

@文化フォーラム春日井・ギャラリー

主催・問合せ:かすがい市民文化財団 0568-85-6868
協力:東海テレビ放送



■ギャラリートーク(申込不要・無料)

2023.5.7(日)、5.21(日)14:00～

■缶バッジワークショップ(申込不要・1個500円)

2023.5.3(水・祝)、5.7(日)11:00-12:00、15:00-16:00

■夜コン「ラフマニフ生誕150周年」(申込不要・無料)

2023.5.12(金)19:00～ 山田さんが演奏者と音楽と絵の関係をトーク!



関連企画

チケット予約・購入

3つの方法が選べます

窓口

文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
(休館日を除く、9:00~17:00)

春日井市東部市民センター2階・事務室
(12/29~1/3を除く、9:30~12:00、13:00~17:00)

電話

0568-85-6868 9:00~21:30

友の会PiPi専用

0568-85-6078 9:00~17:00

WEB

パソコンやスマホから、
かんたんアクセス

予約

www.kasugai-bunka.jp

にアクセス。

※事前のWeb会員登録(無料)が必要です。
※PiPi会員はIDとパスワードでログインできます。

支払

- 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- クレジットカード決済

発券

- 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- 配送(※手数料あり)

学生の特券

厳選された幅広いジャンルの公演や展覧会を、
小中高生に低価格で楽しんでいただけるサポ-
ト制度。詳細は文化財団のホームページへ。



文化フォーラム春日井 春日井市民会館

公益財団法人かすがい市民文化財団
TEL:0568-85-6868

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

FOLLOW US

かすがい市民文化財団の公式アカウントです。

@kasugai_bunka

@477kdncp

[休館日]
月曜日(祝休日の場合は翌平日)
12/29~1/3

[かすがい市民文化財団HP]
www.kasugai-bunka.jp



ACCESS

交通のご案内

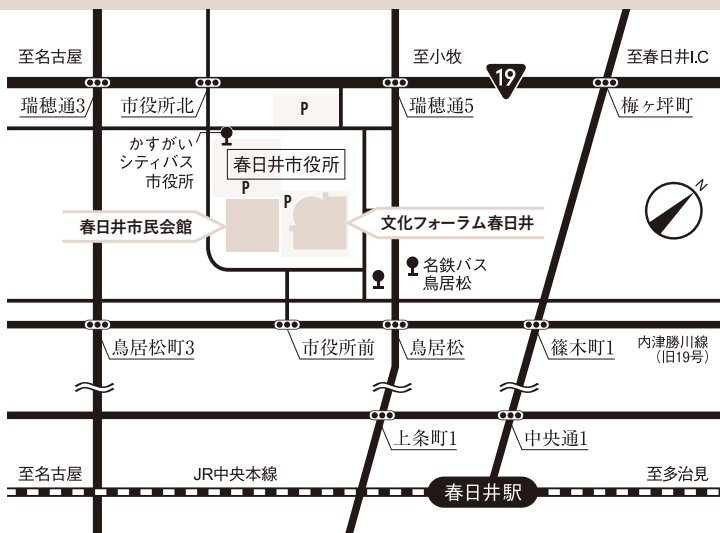
JR中央本線「春日井駅」北口より

- ・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方

- ・「市役所」下車すぐ

駐車場は混雑が予想されます。
なるべく公共交通機関や
乗合せをご利用ください。



新型コロナウイルス感染症の感染状況によって
イベント内容が変更になる場合があります。
最新情報はかすがい市民文化財団のホームページでご確認ください。



公益財団法人
かすがい市民文化財団